

Power of the Community

NEC BIGLOBE, Ltd.
ISOC Japan Chapter
Seiichi Kawamura
@ kawamucho

私がコミュニティ活動を通じて感じる日本の印象

日本のインターネットコミュニティ、特にネットワークサービスや技術に関して世界の日本に対する印象はあまりよくない

しかし、長い間アジアで経済大国という地位を保っているので何かしら期待はされている

良いところが知られていなくて、悪いところはとことん目立ってる

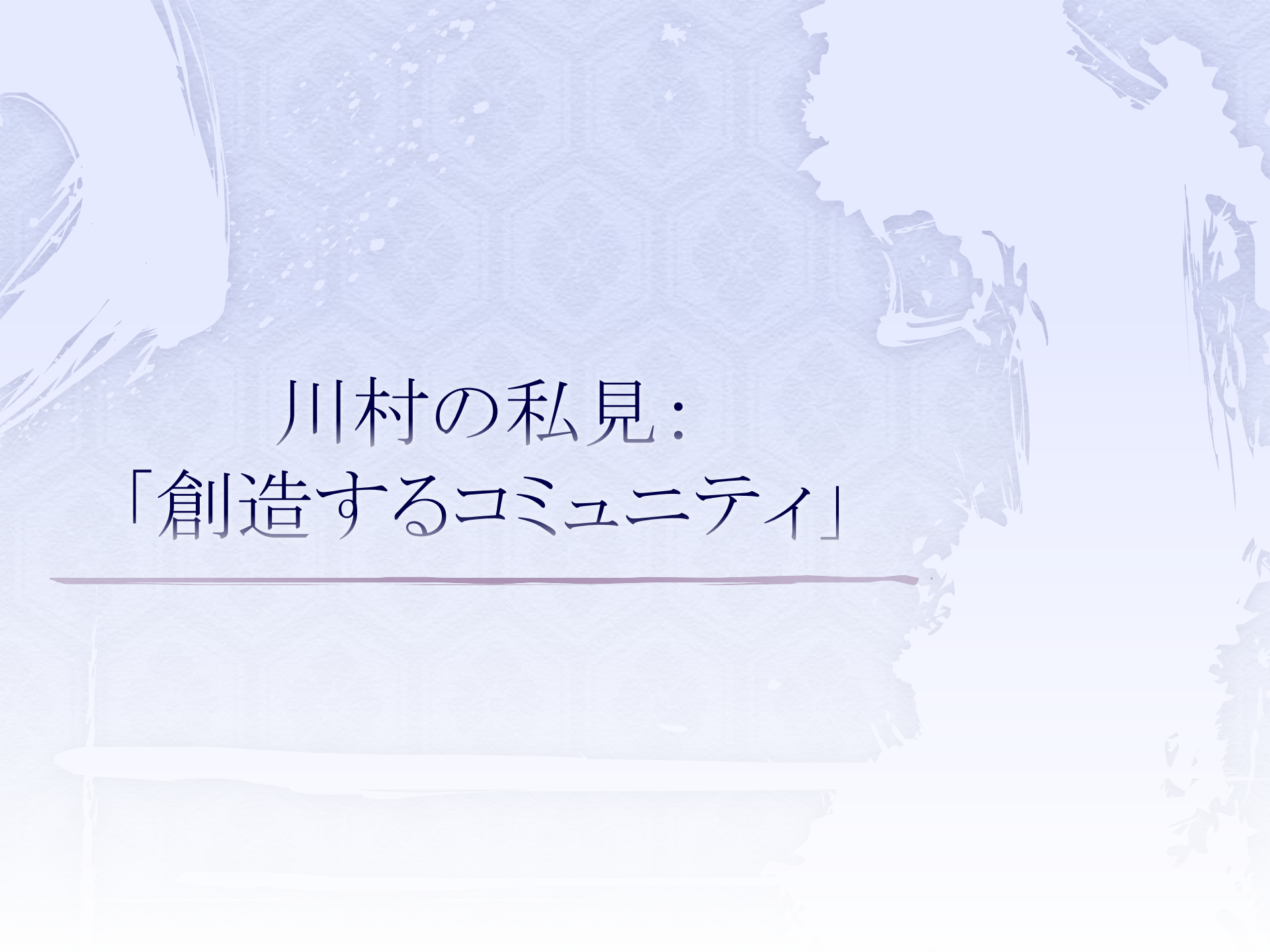
ちょっと言い過ぎかもしれないけど

- ◆ 日本はインターネットに対してどのような貢献をしているだろうか？
- ◆ 日本のインターネットリーダー（個人、組織）って誰？
 - ◆ Globalに認識されてる人材はいる？

内外コミュニティの活動例を検証しながら、
取るべきアクションを考えてみる



Hand off to Okutani-san



川村の私見：
「創造するコミュニティ」

Peering BoF(NANOG, APRICOT)

- ◆ 行われている事
 - ◆ ASの自己紹介(特に新参者)
 - ◆ IXのステータスアップデート
 - ◆ Peeringに関するテーマピックアップ
 - ◆ OpenなIXの実現性について
 - ◆ Peeringのエコノミクス
 - ◆ http://www.oecd-ilibrary.org/science-and-technology/internet-traffic-exchange_5k918gpt130q-en
- ◆ 恒に情報をOpenに打ち合う事で進化し続ける姿勢
- ◆ お互いの理解、プレゼンスの認識、ドミナントの排除をコミュニティとして作ろうとする努力

コミュニティドリブンな進化

- ◆【こんなサービスが！】ヨーロッパのIXに、米国のDCから接続できる（長距離線の契約は不要）
- ◆【こんなサービスが！】Peeringdb
- ◆【こんな交流が！】米国IXには世界各国の事業者が接続しにくる。新参者への参入ハードルがととても低いのはコミュニティの力

自分達の感じる課題と現状に関して素直である事が進化ドライバー

召還魔法

- ◆ RFC5952を書いた事で、RIPEのWGやAPNICで積極的に行動している人たちなどからInformationを共有してくれ、という依頼がたくさんあった
- ◆ ルーティングの発表をいくつかのところでやっていたらIGFに「ルーティングについてレクチャーしてくれ」と呼ばれた

創造的なコミュニティは、いいものを吸い込む力を持っている

RIPEのWG

- ◆ JANOGでもRIPE-399のドキュメントが紹介されたように、WG/SIGが積極的に最先端の情報を発進し続ける
 - ◆ <http://www.janog.gr.jp/doc/ripe399.pdf>
- ◆ Route Flap Dampeningのように悩ましい例もある
 - ◆ 参考URL:
<http://www.janog.gr.jp/meeting/janog27/program/bgpp.html>
- ◆ 結局ここでの活動はRIPE labsの研究に反映されるなど、インターネットプレイヤーの実利として還元される
 - ◆ 僕らもその恩恵を受けている事を忘れてはいけない

RIPE labのような活動はどうやったら日本で実現できるだろう？



オランダのNOGからスタートしたプロジェクト

- ◆ 世界中のメンバーがホスティングしているRING nodeをトラッシュのために利用できる
 - ◆ 一斉traceroute、分散ping、etc...



- Organisations: **152**
- RING nodes: **173**
- ASNs: **152**
- Countries: **37**

Click here to view the [NLNOG RING](#) on a larger map.

Another version of the map fused with Nagios data: [RING Nagios Map](#).

やってみた:tools team

- ◆ 2009年開始
 - ◆ <http://www.janog.gr.jp/meeting/janog24/program/d1p5.html>
 - ◆ <http://www.janog.gr.jp/meeting/janog25/program/tools.html>
 - ◆ <http://tools.bgp4.jp>
- ◆ オペレータによる、オペレータのための情報共有サイト

なかなか「創造的」にはなり
きれしていない...

やってみた: Peering in Japan

- ◆ 2012年開始
 - ◆ <http://www.janog.gr.jp/meeting/janog29/program/peerin g.html>
- ◆ <https://groups.google.com/d/forum/peering-jp>
 - ◆ ASを運用していてIXでPeeringしている人限定
 - ◆ IXの方々は入ってません
- ◆ <https://groups.google.com/d/forum/open-peering>
 - ◆ Peeringに関係してる方全て
 - ◆ request制 (反応悪かったらごめんなさい)
- ◆ BoFを5回開催

何かを変える事が
できたでしょうか？
評価はこれから

感じているポイント

- ◆ コミュニティが創造的に活動する、という事は世界との対話がどうしても必要になる
- ◆ “The Internet is like love, you only get as much as you give.” by Randy Bush ...
 - ◆ 日本人は元来「利他」の精神を持っているはず
- ◆ No Action Talk Only で終わらないためにはどうしたら良いだろう
 - ◆ 活動が分散されまくっていてコミュニティの効率が落ちている気がしなくもない(例: RPKI WGとJPNICの専門家チームとTelecom-ISAC)